

# 5億円の財源不足？

平成15年第9回定例会は、12月16日から18日までの3日間の会期で開催されました。一般会計、特別会計の補正予算をはじめ、都市公園を設置すべき区域の決定などを審議し、提案された議案全てを原案のとおり可決しました。

十二月十七日、新年度予算に関する一般質問に対し、町長は、「現時点での見通しとして、十五年度予算と比較し同様の事務事業をした場合、五億二、〇〇〇万円の歳入不足になる。このため経常経費を各都ごとに枠配分する新しい制度を取り入れ、歳入に見合った予算編成を行う」と述べた。

## 一般会計5、416万円増額

## 総額は122億2、429万円



第8回臨時会  
H15・11・25

議員、職員等の給与を減額改定  
昨年続き、町職員等の給与改定が行われました。

議員、町長、助役、教育長の期末手当の支給率を〇・二カ月減額。一方、一般職の職員の月額給与を平均一・二%引き下げ、期末手当支給率は〇・二五カ月減額。二年連続の減額改定となりました。

なお、改定による議員、町三役の期末手当の減額は次のとおりです。

▽議員八万九、〇〇〇円  
△六万九、〇〇〇円（議長、委員長などの役職による）  
▽町長十九万七、〇〇〇円  
▽助役十八万二、〇〇〇円  
▽教育長十五万九、〇〇〇円

その他、報告一件、議案一件を可決しました。

【報告】  
□専決処分の承認を求めることについて

【議案】  
□教育委員会委員の任命について

# どうなる 当別町

## 教育委員会委員に 吹田朋子氏再任



吹田 朋子氏  
(スウェーデン  
ヒルズ 59歳)

教育委員会委員吹田朋子氏は、平成十五年十二月十四日をもって任期満了となることから、再任について町長より提案があり、議会は満場一致で同意しました。

## 選挙管理委員会委員 及び補充員

選挙管理委員会委員及び補充員が平成15年12月22日をもって任期満了となることから、12月16日、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、指名推選により選挙管理委員4名、補充員4名が満場一致で選出されました。

《任期》

平成15年12月23日～平成19年12月22日

《委員》



松尾 友昭氏  
(太美町 61歳)



今井 嘉紀氏  
(元町 59歳)



榊 弘利氏  
(太美町 65歳)



並川 晃治氏  
(末広 59歳)

《補充員》

高橋雄三氏、辻 伸行氏、木屋路喜代史氏、高橋理英子氏

### 一般会計 特別会計

一般会計補正予算は、五、四一六万八、〇〇〇円増額し、総額を二二億二、四二九万三、〇〇〇円としました。

国民健康保険特別会計は、九九万五、〇〇〇円の減額、老人保健特別会計は、一億四、七九九万七、〇〇〇円の増額、下水道事業特別会計は、五七八万一、〇〇〇円の減額、農業集落排水事業特別会計は、七四万八、〇〇〇円の減額、水道事業会計は、

収益的収一三二万四、〇〇〇円、同支出三六一万九、〇〇〇円、資本的支出二二六万一、〇〇〇円をそれぞれ増額し、これを可決しました。

### 14年度決算 を認定

定例会初日の十六日、先に慎重審議された平成十四年度当別町決算審査特別委員会の報告が島田裕司委員長よりされ、議会はこれを認定しました。

### 反対、賛成 討論

先の議会で用地取得の議決を経た展望公園計画地について、定例会初日の十六日、議案第十二号「都市公園を設置すべき区域の決定について」が上程され、山田明美議員が反対討論、白杵英男議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数でこれを可決しました。

#### 山田明美議員

スウェーデンヒルズは住宅地であり、住民にとって多くの方がここを訪れることによる交通量の増加、環境悪化、生活しづらい状況が発生する。

住民意見の中には、展望公園施設や散策路は必要ないこと、フクロウの森であるなら、多くの方が来るようであれば、フクロウには子育てしにくい場所となる。ぜひ住民意見を取り入れた議論をしていただきたい。住民合意が得られないことから、議案第十二号について反対する。

### 賛成討論

#### 白杵英男議員

展望公園は我々周辺住民においてもスウェーデンヒルズ開発当時から悲願である。今後の話し合いの中で、いろいろな要望を取り入れ、十分その理解を得ながら、これを推進していただきたい。

この都市公園計画の設定をしなければ、その責任問題、町がどう管理するのかということも含めて前に進まない。用地買収は、全会一致で賛成しており、今さら前に進まない状況というのは本意である。

### 採決の結果、賛成多数で 十二月十六日原案可決

この他定例会で可決した議案は、次のとおりです。

- 当別町特別土地保有税審議会条例を廃止する条例制定について
- 恵庭青年の家組合の解散及び解散に伴う財産処分協議について
- 町の区域の変更について
- 財産の取得について

# 総額172億円を認定

決算審査特別委員会は、11月4日から12日までの6日間(8日、9日、11日は休会)にわたって開催されました。一般会計、水道事業会計、6特別会計の歳入総額171億9,753万円、歳出総額172億2,894万円の14年度決算について慎重に審査しました。

## 平成14年度当別町各会計 決算審査特別委員会報告

### 決算審査特別委員会報告書

#### 一般会計

##### 《歳入》

住民の義務として納入すべき各税の滞納額が一向に減少の傾向にない。

このことは納税者間に重大な不公平を生じるとともに、財政運営に大きな支障を来す。滞納処分、不納欠損の事務処理は不公平感がないよう、より慎重を期すべきである。また、課税の基本事項、納税に対する住民意識の向上を図り、実効性のある徴収体制の充実に図られたい。

##### 《歳出》

##### (民生費)

老人ホーム長寿園の食事に関する食味については、入所者の意見等を把握し、入所者が楽しみの持てる食事に努められたい。

##### (土木費)

新設道路工事及びそれらに伴う用地買収については、個人所有地の境界対応を含め統一性のある基準を確立し、事業執行に当たられたい。

今後の歩道整備に当たっては、既存の道路基準による一律の幅員にこだわることなく、地域の特性や通行量等を十分勘案した中で適正な事業遂行に努められたい。

#### 特別会計

各事業会計は、依然未納額、滞納繰越額が残存し、経営の悪化が懸念される。より一層健全な会計運営を執行されたい。

財政硬直化が進む中、町財政はますます厳しい状況になると想定される。

理事者、職員においては各部局間の連携体制の再構築を図り、業務遂行に万全を期し、今まで以上の事務的質的向上に努め、町民の期待に添うよう研さんされたい。



# 請願・陳情

本定例会において、陳情書6件が提出され、所管の委員会に付託されました。

## 《文教厚生常任委員会》

□年金改悪反対、大増税の中止を求める陳情書

陳情団体

札幌地区労働組合総連合 議長 赤坂 正信

□「公立高等学校配置の基本方針と見直し」を見直すとともに、道民合意のない拙速な高校通学区域の拡大を行わないことを求める陳情

陳情団体

ゆきとどいた教育をすすめる札幌・石狩連絡会  
会長 赤坂 正信

□教育基本法の改正ではなく、その理念の実現を求める陳情

陳情団体

ゆきとどいた教育をすすめる札幌・石狩連絡会  
会長 赤坂 正信

## 《産業建設常任委員会》

□季節労働者冬期援護制度に関する陳情

陳情団体

地元で働く仕事と90日支給復活を要求する北海道連絡会 代表委員 佐藤 陵一

地元で働く仕事と90日支給復活を要求する当別の会 代表委員 山田恵美子

□季節労働者の冬期雇用援護制度にかかわる陳情書

陳情団体

連合北海道当別地区連合会 会長 小川 政実  
北海道季節労働組合札幌地区本部

当別支部 支部長 庵 利勝

## 《総務常任委員会》

□政府に「イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書」の提出を求める陳情

陳情団体

さっぽろ『地球村』 代表 木下 弘美

# 平成14年度の決算

## 入所者が楽しみの持てる食事に努める



## 地域の特性を勘案した道路整備を



# 議会のうごき

(平成15年11月～平成16年1月)

11・4～12 平成14年度決算審査特別

委員会

(休会8・9・11)

総務常任委員会

沼田町議会来町

文教厚生常任委員会

第47回町村議会議長全

国大会及び第28回豪雪

地帯町村議会議長全国

大会出席(東京都)

議会運営委員会

第8回臨時会

総務常任委員会

産業建設常任委員会

文教厚生常任委員会

議会運営委員会

第9回定例会

議会運営委員会

文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会

議会運営委員会

産業建設常任委員会

議会運営委員会

議会広報特別委員会

議会運営委員会

議会広報特別委員会

議会運営委員会

1 1 1 1 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 11 11  
28 22 22 15 18 18 17 17 16 16 16 10 5 5 4 25 25

18

11 11 11 11  
19 14 14 13  
21

# 委員会報告

定例会初日に所管の委員会に付託された陳情書に対して、最終日の18日に委員会報告がされました。

## 総務 常任委員会

政府に「イラクへの自衛隊派遣に反対する意見書」の提出を求める陳情  
現地の治安状況も、十分把握出来ない現状のもとで、より慎重な対応が必要とされているが、イラク復興支援には自衛隊がその役割を担うべきとの政府の決定もある。よって本陳情については、不採択とすることが適当と認められた。

本委員会報告に対して、堀梅治議員が反対討論、島田裕司議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で委員会報告のとおり**不採択**となりました。

## 産業建設 常任委員会

季節労働者冬期援護制度に関する陳情

### 趣旨採択

季節労働者の冬期雇用援護制度にかかわる陳情書

### 趣旨採択

## 文教厚生 常任委員会

年金改悪反対、大増税の中止を求める陳情書  
年金制度の給付、負担のあり方が、国民的議論となつている中、給付を広げる一方で、負担増は認めないとする考え方は、年金問題の解決にはならない。よって本陳情書については、不採択とすることが適当と認められた。

本委員会報告に対して、柏樹正議員が反対討論、高谷茂議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で委員会報告のとおり**不採択**となりました。

「公立高等学校配置の基本指針と見直し」を見直すとともに、道民合意のない拙速な高校通学区域の拡大を行わないことを求める陳情

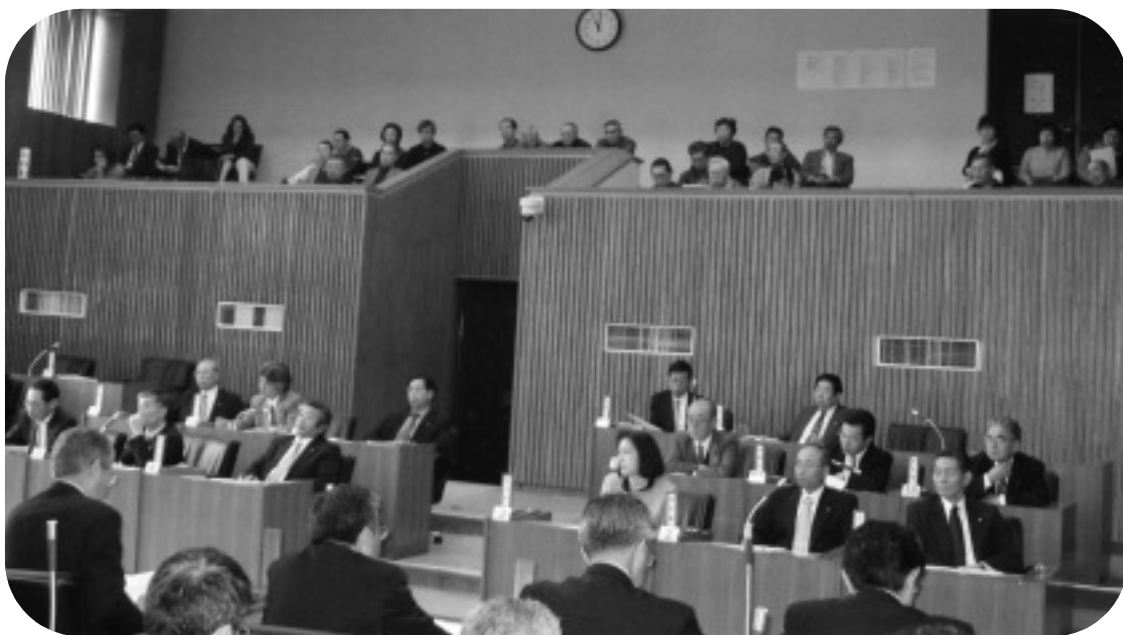
北海道の高校生の数は昭和六十三年をピークに減少し、小規模校が増えている。こうした状況の中で道教委は「学校配置の基本指針」を定めた。

諮問された検討会議での調査では、学区拡大を望む道民の声が多いのが実態である。よって本陳情については、不採択とすることが適当と認められた。

本委員会報告に対して、柏樹正議員が反対討論、高谷茂議員、後藤正洋議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で委員会報告のとおり**不採択**となりました。

教育基本法の改正ではなく、その理念の実現を求める陳情

教育の現状は、規範意識、道徳心、自律心の低下、いじめ、不登校、中途退学、青少年犯罪の増加といった危機的な状況下にある。政治経済の抜本的改革と合せ、新しい時代にふさわしい教育の実現のため、普遍的な理念は大切に、今後、重視すべき理念を明確にした教育基本法の見直しは必要である。よって、本陳情については、不採択とすることが適当と認められた。



本委員会報告に対して、柏樹正議員が反対討論、高谷茂議員が賛成討論を行い、採決の結果、賛成多数で委員会報告のとおり**不採択**となりました。